

令和4年6月1日

R4 校長室より(1) 研究発表会での受賞・英検の学校開催

令和4年度では初めての「校長室より」の発信となります。しばらく発信できず、申し訳ありませんでした。この間、3月末の東京大学研究室訪問、4月のサンダルセミナーIN 科学技術など記事にできそうな活動は多くあったのですが、校長職務の忙しさに気を取られ、校長通信を掲載することが出来ずいました。これからは昨年同様、不定期ではありますが、学校の状況や生徒の活躍を発信していきたいと思いますのでよろしくお願い致します。

さて、昨年度はSSH指定校として返り咲いた初年度として、校外発表213件、全国レベルの受賞13件と目覚ましい成果を上げることができました。生徒のチャレンジ精神と研究指導に携わっていただいた先生方に敬意を表します。今回紹介する生徒研究発表会（首都圏オープンTSEF2022）の受賞もその一つです。現在、校門横の掲示板でも紹介しています。これは早稲田大学高等学院が主催し、3月に開催された発表会です。昨年に続きZOOMによるオンラインによる研究発表会でした。

本校からは写真にあるように「テキストマイニングを用いた有害発言除去システムの開発」（情報分野）を発表したチームが最優秀賞を、「電磁誘導を用いた災害用モバイルバッテリーの開発」を発表したチームが優秀賞を受賞しました。両方ともに令和4年度3年生となる生徒たちです。このように研究するだけでなく、その成果を発表すること、特に外部に発信することは勇気のいる取組です。令和4年度も多くの生徒のチャレンジを応援していきたいと思います。

本校は今年度から平日45分×7時間授業、土曜日は年間計画を立てて講習を実施しています。写真は英語検定を視聴覚教室で受験している様子です。4・5月に対策講座を実施し、5月28日に学校開催しました。二級・準二級を中心に132名の希望者が受験しました。年3回学校で受験機会を設けています。新しい取組に主体的に取り組んでくれて嬉しく思っています。



校長 久保 剛